



# 学校だより

川越市立山田中学校

令和4年3月25日 発行

## 修了式にあたって

校長 大澤由美子

令和3年度の修了式の日を無事迎えることができました。

修了式で生徒達に次のような話をしました。

後輩に手本を示し、引っ張ってくれた三年生は、立派な姿で10日前に巣立っていきました。

二年生は「三年生を送る会」や「卒業式予行」「卒業式準備」等を通して、卒業生への感謝の気持ちや、後を引き継ぐ者の姿勢をしっかりと見せてくれました。とても頼もしく、中学生として確実に成長を遂げていることを感じました。二週間後に始まる新年度、最上級生としてより良い山田中学校を創っていてくれることを確信しました。

一年生も工夫を凝らした出し物等で「三年生を送る会」を盛り上げ、卒業生への気持ちを表すとともに二年生を支えてくれました。また、先日の校外学習では、互いに協力しながら班別行動し、一段と力を付けました。学校を離れて普段とは違う環境で、それぞれが自分の持ち味を發揮して、充実した時間を過ごしていたように感じました。川越の街中で、本校生徒の良い笑顔にたくさん出会いました。

さて、三学期の始業式の話は「自立」と「自律」でした。「周りの人に事細かに指示されるのではなく、自ら気づき、考え、自分をコントロールして行動する、『自立』『自律』した人物になってほしい」「中学生として日々感じ、自ら学ぶ。いろいろな体験を重ね、自分で考え、行動する力をつける。そのような3学期にしてほしい」と、話しました。どの学年も「自立」「自律」に向かってよく努力していたと思います。「三年生を送る会」や校外学習、委員会活動等をより良いものにするために、あるいは成功させるために、考え、工夫し、行動する姿をたくさん目にしました。大人になるにつれて、答えが簡単にみつからないことに遭遇する場面が増えていくものです。その時、大事なものは「自ら気付くこと」「自ら考えること」「自ら行動すること」です。少しずつでも確実に「自ら・・・」を増やしていきましょう。焦らず、一つずつでよいので、「確実に」積み重ねてみてください。

コロナ禍の一日であっても、中学校生活三年間の中の大切な一日。できないことを嘆くだけで過ぎてしまうには、あまりにも惜しい時間です。様々な制約がある中でも、「できることに感謝」して、「できることを大切に」して素直な気持ちで前向きに取り組めた一年間でした。これまでを振り返り、今、うれしい気持ちで満たされています。

新型コロナウイルスのため、本年度も急な対応や変更等が多い一年でした。保護者の皆様には、学校の教育活動への温かい見守りとご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後も、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。